

磐山登山



熊山登山は残念ながら行けませんでした
が、『磐山』に登ってきました。日頃から長い
距離を歩いて足腰を鍛えてきたので、楽しみ
ながら元気よく頂上を目指すことができました。
秋が深まってきた山の中にはたくさんの
どんぐりや松ぼっくりが落ちていたので、
足を止めては集め、頂上から自分たちの住ん
でいる町を見下ろして「あそこが私の家か
な？」と楽しい時間となりました。年長児の思
い出の1ページになることができたのではな
いかな?と思います。



11月

- 4日 ほし組お出かけ保育(4歳児)
- 5日 桜が丘小学校就学時検診(5歳児)
- 10日 総合避難訓練
- 20日 誕生会
- 27日 健脚活動



12月

- 4日 避難訓練
- 10日 発表会リハーサル
- 19日 発表会
- 25日 誕生会
- 1号終業式

健脚活動



お弁当を持って、いつもの散歩よりも遠くへ歩きます。日常の散歩で培った脚力で、交通ルールを守って、歩く力をさらに伸ばしていきます。長い距離を歩くことで体力が付き、心も強くなっていきます。

今年度は、これが初めて園外まで歩いていく健脚活動。はな・ゆき組は、2丁目グラウンド にじ・つき組はさくらんぼ公園 ほし・そら組は中島の芋畑まで、大きいクラスはしっかりと交通ルールを守り、小さいクラスは友だちとしっかり手をつないで歩きました。

芋掘りや公園での自然・みんなで食べるお弁当どれもとっても楽しむことができました。次回の健脚活動でもしっかりと歩いてきたいと思います。



いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.39



いちょうの森こども園HPには、QRコードまたは
下記のHPアドレスよりアクセスできます。
<https://ichionomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和2年度11月2日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086(956)2022
FAX 086(956)2023

『“やってみよう”の気持ちを大切に』

春には黄緑色だったイチョウの木も少しずつ黄色の葉っぱへ衣替えをし始め、枝にはギンナンの実も丸々とくっついていきます。同じように、こどもたちも春に比べて身も心も成長していることを実感しています。

4月当初は、新しい保育室や保育者に驚き、なかなか落ち着いて過ごすことが難しかったにじ組。しかし、日を重ねるごとに生活の流れが身につき、安心して過ごせるようになりました。毎朝のおやつの時間に、出席しているみんなで顔を合わせて楽しい時間を過ごします。そのためには、机を用意したり、コップ袋をまとめているカゴを運んだり、机を拭いたり、準備することがたくさんあります。今までは保育者が全てしていたのですが、ある日、近くにいたAさんに重いな?大変かな?と思いつつ「ちょっと一緒に机を運んでもらえるかな?」とお願いをしました。するとAさんは快く「いいよ」と返答。少し重そうにしていたのですが最後まで運びきって、さらに、おやつの時間に使う物を全部一緒に用意しました。「ありがとう、助かったよ」と声をかけるとにんまり顔。次の日、またおやつの時間になるとAさんから「先生、机いる?」と問いかけてきました。「そうだね、机があるね」と答えるとAさんは「誰か手伝って」と周りの子に声をかけ始めたのです。それに気づいたBさんがやってきて二人で「わっしょい、わっしょい」と机を運び、コップ袋の入っているカゴを用意してくれました。誰かのために何かをしようという気持ちが幼いながらも芽生えているのです。

「まだ、どうせできないから」「こどもにやらせたら危ないし…」と大人は思いがちですが、その思いがこどもの「やってみよう」「頑張ってみよう」という思いをつぶしてしまっていたのかな?と私自身が感じた出来事でした。「やってみたらできた」という経験が、きっとこどもたちの自信につながります。保護者の方もぜひ、お子さんにお手伝いを頼んでみてはいかがでしょうか?



原 愛結奈

運動会・お披露目会

そらくみ

こども園で最後の運動会。自分たちの出番だけでなく、下のクラスの手伝いをしたり、大道具を出したりして、「自分たちの運動会を自分たちで作る」という気持ちでのぞむことができました。

また、チームの為、みんなの為、と仲間と一つ目標に向かって取り組み、一緒に達成する喜びを感じることができました。大きな行事をみんなで乗り越え心も身体も成長したように感じています。



ほしくみ



ほし組みんなで何度も挑戦をして、こどもたちの持っている力を存分に発揮した戸板のぼり。春から「諦めない！」を合言葉に練習をしてきました。“諦めず挑戦するとできるようになること”“挑戦してやり遂げた達成感”を日々の練習の積み重ねで感じることができました。運動会を通して身も心も強くなったこどもたち。これからもいろんな経験を通じて大きくなってほしいと思います。

つきぐみ

つき組にとって初めてのかけっこ。「かけっこどん」の合図で走ることが楽しく、毎日のように「今日もかけっこしたい」とはりきっていました。こどもたちとは、「最後まで走ることがかっこいいよね」と話をしてきたので、本番では転んでも涙する子もおらず、走り終わったあと「楽しかったー！」と大人もこどもも一緒に達成感と満足感でいっぱいでした。運動会が終わったからこれで終わりではなく、まだまだ楽しんでいきたいと思えます。



にじぐみ



トップバッターでスタートしたお披露目会。少し緊張した様子ではありましたが、普段楽しんでいる運動あそびを、上のクラスのお兄さん・お姉さん、先生たちにしっかり見てもらいました。

来年はかっこいい姿をお母さん・お父さんにも見せるぞ！と今からときどきわくわく(?)のこどもたちです。

ゆきぐみ



一本橋・踊り『ピカピカブー!』・友だちと手をつないで歩くことを披露しました。

身体を動かして遊ぶことが大好きなゆき組さん。楽しむ姿を見てもらうことができました。友だちと手をつないだら歩くのもさらに楽しいね。

段ボールの猫と犬にキャンディを届けにいったはなぐみ。入退場門から離れた場所に置いた箱まで歩いたり、抱っこで行きました。ちょっと遠いかなと思っていましたが、みんなの前で堂々と活動できました。拾って穴に入れることや、物を上手に持てるようになった様子もおひろめしました。

はなぐみ



人権キャラバン



「ちがうよ!～私の思い あなたの思い～」

ままごと遊びなど、こどもが自由に発想を膨らませて遊ぶあそびの中では、友だち同士でやりたいことが分かれてしまうこともあります。自分の思うことと違うことを友だちが思ったり考えたりすることは当然のこと。そんなときに「ちがうよ!〇〇よ!」と強い口調で相手の自由に考えたり思ったり権利を奪ってしまっていないかを考え直す機会になればいいと思います。また、友だちには友だちの思いや考えがあることを知り、相手の言葉を聞くことで、あそびがもっと楽しいものになっていくことに、経験を積むことで気づけるように助けたいです。